

書籍のご案内

国際交流・国際理解教育のための

国際化対応の重要ポイント

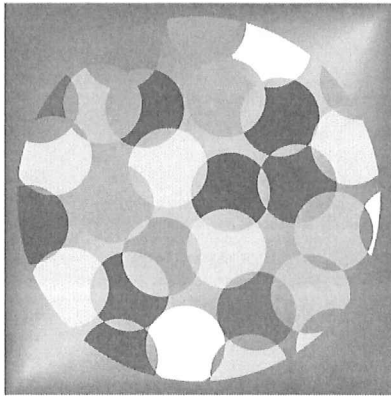
政策研究大学院大学教授 岡本 薫 著 ISBN4-7937-0113-2 2006年2月10日 (第2刷)

本体900円 送料215円 A5判 72頁

国際交流・国際理解教育のための

国際化対応の重要ポイント

岡本 薫 著



財団法人 全日本社会教育連合会

序

第1章・はじめに

第2章・「個人レベルの国際化」

にどう対応するか？

1. 個人レベルの「異文化接触」に備えて
2. 「文化の違い」について理解する
3. 相手と「コミュニケーション」する
4. できる範囲で自分の行動を変える

第3章・「国レベルの国際化」

にどう対応するか？

1. 国レベルの「方針決定」への参画に備えて
2. 世界の現状・歴史に関する「知識」
3. 国際社会の変化に対応する「判断力」

第4章・青少年国際交流のすすめ

—結びにかえて—

「国際化」への対応ということは、日本と日本人が直面する重要な課題として従来から盛んに議論されてきましたが、国際化が急速に進むに従い、国際化への「対応」として必要なことの具体的な内容は、大きく変化しつつあります。「どうやって相手を理解するか」から「どうやって相手に理解してもらうか」に、また、「どうやって仲良くするか」から「どうやって共通の目的のために協同するか」に、いわゆる「国際化対応」の質は大きく変化しつつあります。また、国際的な政治問題や武力紛争などの頻発に伴い、「個人・地域レベル」の国際化だけでなく「国レベル」の国際化についても、「民主的な国家・社会の一員として、国の対外政策の決定にどのように参画していくか」という大きな課題が生じています。

「国際化」という大きな動きを前にして、「日本や日本の国民はどのような方向を目指していくべきか」ということは、主権者である国民自身が民主的なプロセスを経て決定していくことですが、「国際化への対応」に関する議論には、今日でも様々な混乱・誤解・偏見などが見られるようです。本書は、このような状況を背景として、「国際化への対応」ということを考えていただくための「整理」と「問題提起」を試みたものです。

本書は、各地域で国際交流活動を企画・実施している市民グループや団体の方々、学校で国際理解教育を実践している教員の方々、国際関係の社会教育事業に携わる行政・団体関係者や指導者の方々などのほか、国際化に関心を持つ多くの人々を広く対象としたものですが、ここでの問題提起等がこれらの方々のお役に立つよう祈ります。

なお、本書の記述は、筆者がアメリカとフランスに数年間住んだ経験、国家公務員として国際的な仕事に携わってきた経験、国際公務員としてパリのOECD（経済協力開発機構）で2回勤務した経験、出張・旅行等でこれまで約80ヶ国を訪問した経験などに基づいたものであり、言うまでもなく筆者の個人的な見解です。（序文から）

◆ご注文は最寄りの書店、または当財団（日本青年館 社会教育編集部）までお申し込み下さい◆

日本青年館 社会教育 編集部 TEL 03 (6452) 9021 FAX 03 (6452) 9016